

区分・種別	重要文化財(彫刻)		
名 称	もくぞうくうやしようにんりゅうぞう 木造空也上人立像 1 軀		
所 在 地	松山市鷹子町		
所 有 者	浄土寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和11年9月18日		
解 説	空也上人立像は、真言宗^{ぶざんは}豊山派四国八十八か所49番札所浄土寺にある。 像高122.4センチメートル、頭頂部からあごまで18.6センチメートル、面幅12.4センチメートル、^{ひじは}臂張り38.5センチメートル、^{すそは}裾張り33.3センチメートルの寄木造の像である。 容姿は、すでに老境にある上人が、衆生の苦悩を背負い、^{かね}鉦をたたいて南無阿弥陀仏を唱えながら遍歴する姿で、口から6字の名号「南無阿弥陀仏」が仏となって表れている。 深い刀法と写実性は、鎌倉時代の特徴を表しており、肖像彫刻の優品といえよう。		

